

長浜市生涯学習社会づくり基本方針（案）パブリックコメント結果

■意見募集期間 令和4年12月15日から令和5年1月13日まで

■意見提出者 3名

■提出意見数 13件

■意見と意見に対する市の考え方

No.	記載頁	意見	意見に対する市の考え方
1	24	地域コーディネーターの人材を置いてとありますが、1つの学校に対して、コーディネーターは何人になりますか？少なくとも2,3人が理想だとも思います。何人体制とですとか、本部はどこに置くとか、もう少し具体的に記入があると良いと思いました。	地域学校協働活動については、地域コーディネーター（地域学校協働活動推進員）の配置を含め、特に重点的に実施する施策として、これから導入を検討していく段階となります。体制や本部の設置につきましても、地域性を考慮しながら、地域と学校が連携がしやすい形となるよう検討してまいります。
2	-	長浜市では、生涯学習へのおさそいという冊子が、各まちづくりセンターにも配布されており、またパソコンなどでも閲覧できりようになっていますが、これも認知度がかなり低いと思われます。 私も毎年、この冊子に教室の内容を掲載させてもらっていますが、何か運動や趣味を始めたいと思いつくときに、生涯学習というワードで検索はされないと思います。 なので、長浜市のホームページや、各まちづくりセンターのホームページを開いたときに、各まちづくりセンターのサークル活動と題名をかえて、生涯学習のページが開けると見てもらえる確率があがると思います。せっかく、毎年更新して長浜市サークルが全部のっている良いものを作って頂いているので、もっと活用してもらいたいと思います。そして、各まちづくりセンターの利用の増進に繋がりたいです。	ご指摘のとおり、今回のアンケート結果においても市内の生涯学習の情報が探しにくい、届きにくいなどのご意見があります。現在、県の生涯学習情報提供システム「におねっと」からも本市の講座やサークル活動等の情報が検索できるように連携しております。市のホームページ、また、「生涯学習のおさそい」冊子につきましても、必要な時に必要な情報が手に入りやすいよう、発信の方法について検討し、効果的な情報発信に取り組んでまいります。
3	-	各まちづくりセンターでは、土曜学び座という、小学生向けの活動を月に1回ほどされていますが、小学生以下の子供さんや保護者向けにも、親子でも学び座の場を設けることで、さらに広く市民の方にまちづくりセンターを利用していただけるのではと考えます。	土曜学び座を含め、まちづくりセンターで行われる生涯学習事業につきまして、さらに広く市民の方にまちづくりセンターを利用していただけるよう、講座の内容、対象者について検討してまいります。

No.	記載頁	意見	意見に対する市の考え方
4	18	<p>「人生 100 年時代を見据えた生涯学習 人生 100 年時代をより豊かに生きるため、若者から高齢者まで誰もが、いつでも、どこでも、生涯を通じて学ぶ楽しさを感じ、学んだことを生かして活躍できるよう、必要な知識や技術の習得、健康の保持・増進に資する生涯学習を推進します。」と記載いただいておりますが、具体的にはどこで技術の習得が出来る、民間のトレーニング施設が人気となっていますが、健康の保持・増進に資する生涯学習をどのように具体的に推進いただけるのでしょうか。明示していただけないでしょうか。</p>	<p>健康の保持・増進に資する生涯学習については、まちづくりセンターやスポーツ施設等においてサークル活動や民間企業等と連携した講座、各種スポーツ教室等を行っております。基本方針については、今後の大きな筋道を示しておりますので、具体的な取組みについては記載していませんが、人生 100 年時代をより豊かに生きるため、市民の皆さんが心身の健康を保持しながら活動ができるよう取組みを進めてまいります。</p>
5	22	<p>柱 3 学びを深める人づくり、つながりづくりの支援 方針（1）学びの活動をコーディネートする人材の育成・活用として、「社会教育主事（社会教育士）の資格取得を支援するとともに、生涯学習事業の企画・運営に関わる職員やスタッフ等の人材の育成や研修の充実を図ります。」との記載をしていただいておりますが、具体的には、どこの場所でどのように啓発され研修の場を提供いただけるのでしょうか。</p>	<p>各まちづくりセンター等生涯学習施設の職員や社会教育関係職員を対象に、大学等で実施される社会教育主事講習や県研修会等への参加により学びの活動をコーディネートする人材の育成を図ってまいります。</p>
6	22	<p>方針（2）ICT を活用した「つながり」の拡大、情報活用能力の向上として、「オンラインによる学習やWEB 会議でのコミュニケーションの場など、新しい技術を活用した多様な主体との連携・協働によるつながりづくりと、情報通信技術の活用能力の向上の取組みを進めます。」との記載がありますが、現状、専門的に学べる機会を提供いただいているまちづくりセンターは、1 か所しかないと思っておりますがどのように活用能力の向上をどこでされるのか楽しみにしており、記載いただけないでしょうか。</p>	<p>現在、高齢者向けのスマホ教室やパソコン講座等をまちづくりセンター等の生涯学習施設で行っています。デジタル化が進展する社会においては、情報通信技術の活用能力を身につけることが重要となってきます。基本方針については、今後の大きな筋道を示しており、具体的な取組みについては記載していませんが、市民の方が情報通信技術の活用能力の向上を図ることができるよう、他部局や各種団体との連携協力を行いながら講座の開催等、取組みを進めてまいります。</p>

No.	記載頁	意見	意見に対する市の考え方
7	22	<p>柱4 生涯学習を通じた地域づくりの推進方針「青少年に対して多彩な地域活動の場や家族のふれあいや結びつきを考える機会を提供し、青少年の安全・安心につながる活動を行っている青少年育成市民団体に対して、その活動を支援することで、青少年健全育成を通じた地域づくりを推進します。」との記載をいただいておりますが、地域の青年団組織も残念ながらなくなり、具体的には、どのような青少年育成市民団体に対して、その活動をどう支援されるのですか記載いただけないでしょうか。</p>	<p>地域の各種団体や学校、関係機関や市民の方などが連携を図り青少年の健全育成活動を行う長浜市青少年育成市民会議に対して、活動の支援を行っております。基本方針については、今後の大きな筋道を示しており、具体的な支援については記載していませんが、同市民会議を中心に市内各地域において、青少年健全育成のための事業を展開してまいりたいと考えております。</p>
8	23	<p>方針（4）高齢者の社会参加の促進「高齢者が、地域の中で心豊かに過ごせるよう、楽しみとやりがいを持ちながら、生きがいづくりや健康づくり、地域づくりにつながる学習機会の充実を図ります。また、その学びの成果や今までの知識、経験が、地域づくりや子どもたちとの活動など様々な形での地域社会活動に生かされ、社会の担い手として、いきいきと活躍できる環境の充実を図ります。」と、とても重要なことを記載いただいておりますが、これを実現するためには、どのような措置をしていただけるのでしょうかもう少しわかりやすく記載いただけないでしょうか。</p>	<p>基本方針については、今後の大きな筋道を示しており、具体的な取組みについては記載していませんが、今後の取組みとしまして、24ページの重点施策「地域ぐるみで子どもの「生きる力」を育む」において、地域と学校が連携・協働して、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えていく地域学校協働活動の導入を図っていき、そこで高齢者の方々の多様な知識や技能、経験を子どもの教育に生かすことで、生きがいや自己実現の機会や場の充実を図ってまいりたいと考えております。また、学校や園に出向き子どもたちに文化芸術体験を提供するアウトリーチ事業の充実や市民交流センターで行われている福寿大学や各まちづくりセンター等で行われる生涯学習の充実を図ってまいります。</p>

No.	記載頁	意見	意見に対する市の考え方
9	24	<p>第5章 特に重点的に実施する施策 1 地域ぐるみで子どもの「生きる力」を育むの中で</p> <p>「地域学校協働本部の導入を検討し、コミュニティスクールと地域学校協働本部の一体的な取組みを行うことで、保護者や地域住民等の当事者意識や参画意識を高め、学校と地域とが一体 となって子どもの「生きる力」を育む体制を推進します。」との記述がありますが、これだけ多くの子どもたちが学校へ登校できない心情を思うと、行政がもっと中心となり、廃校を活用した「コミュニティスクール 仮称 総合支援学園などを開校し、こどもの心をつかむ学園創設に取り組むことや、福井県勝山市の誘致をうけて、公立学校の校舎をつかった日本ではじめての私立学校を支援されていることに学び、当市も全国の誇れる「生きる力を育む都市ながはまし」にしませんか、もっと具体的な政策展開に挑戦しませんか。こうした取組みをリーディングプロジェクトとしてしっかり政策を記載していただけないでしょうか。</p>	<p>「生きる力」を育むためには、学校での学びに加えて、地域での多様な人々との関わりや活動を通して、学びに向かう力を育むことが必要となります。まずは、地域と学校が連携・協働しながら地域ぐるみで子どもの学びを支える仕組みや体制を全市に広めてまいりたいと考えております。ご意見については参考にさせていただきます。</p>
10	25	<p>ICT を生かした多様な学びの推進として「コロナ禍への対応を機に、オンラインによる学習やWEB会議でのコミュニケーションの場など、新しい技術を活用した多様な主体との連携・協働による学びがより一層進展しています」との記述がありますが、誰が、いつから、どのように学びの場を提供いただけるのでしょうか楽しみにしておりますのでもう少し詳しく具体的に記載いただけないでしょうか。</p>	<p>今後、実施する生涯学習事業について、オンラインを活用した学びの提供や、MOOC等の大規模公開オンライン講座を広く紹介するなど、市民がいつでもどこでも学べるように取組みを検討しております。基本方針については、今後の大きな筋道を示しており、具体的な取組みについては記載していませんが、今後の講座等については広報ながはまや市ホームページ等を通じてお知らせしてまいります。</p>

No.	記載頁	意見	意見に対する市の考え方
11	16	<p>「（１）子どもの生きる力を育むための地域とのさらなる連携の構築」について</p> <p>地域と学校のさらに進めるためには、地域の人や行政職員と教員とのさらなる交流や意見交換が必要であると考えます。現在長浜市の生涯学習は市長部局にありますが、教育委員会との密な意見交換や教員籍職員の人事交流などが必要ではないでしょうか。</p>	<p>ご指摘のとおり、この取組みについては教育委員会と連携して進めていくことが必要不可欠となります。地域と学校が両輪となって進んでいくことができるよう、現在、教育委員会と協議をしたり、当課に配置している教員経験者の意見を聞きながら検討を行っております。今後さらに教育委員会と連携を密にしながら取り組んでまいります。</p>
12	17	<p>「学びを支える体制」について</p> <p>全体を通してコーディネート機能やコーディネーターの役割の重要性が記載されていますが、特にまちづくりセンターの利用が少ないとされる、30-50代の職員が採用できるような待遇（給与等）が用意されるべきと感じます。地域の実情に合わせた新たな企画を考案し実行していく業務は専門スキルであり、そのような能力を持つ人材が登用される環境が整備されるとよいと思います。</p>	<p>ご指摘のとおり、地域の問題を解決していくためには学びのコーディネートを行う人材が重要となります。まちづくりセンター等社会教育関係職員に対し、社会教育主事講習の支援や研修会参加促進により人材の育成を図ってまいります。人材の登用される環境の整備については、今後の参考にさせていただきます。</p>
13	-	<p>生涯学習ということで「学び」という部分に焦点が当てられていますが、目指す方向性や活動内容については市民活躍課が所管する市民協働センターの活動内容と同様の部分があると感じました。各まちづくりセンターの枠を超えたコーディネート機能や企画立案推進のコンサルティングなど、協働できる部分が多くあると思いますので、部局を超えて上手く推進体制を組み立てていくのがよいと思います。</p>	<p>この基本方針では、学ぶだけにとどまらず、学びの成果や学びの中でのつながりを地域での活動に生かし豊かなまちづくりにつなげることをめざしています。仰るように、めざす方向性についても市民協働センターと同様の部分があります。柱3方針（3）でお示ししているように、市民協働センターとの連携をさらに図り、推進体制を組み立てていけるよう検討してまいります。</p>